学校番号	301

令和８年度　理科

教科	理科	科目	化学（理型）	単位数	５単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校　化学　（啓林館）						
副教材等	ニューステップアップ化学　（東京書籍） 2026　化学重要問題集　（数研出版） 2026　大学入学共通テスト対策　チェック＆演習化学　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

予習として，習う単元を教科書である程度調べておき，授業時間のうちに内容を吸収できるように努めましょう。日々の復習として，問題集をその都度解くようにしましょう。スタサプも併用し，こまめに復習することが肝心です。実験に対しても，事前に実験プリントをよく読み，実験操作をイメージしておき，実験後は速やかにレポートの作成にとりかかること。自分でしっかり考えることが理解への近道です。「化学」は「化学基礎」の理論的内容の上に積み上げていきますので，わからないところは「化学基礎」に戻って復習しつつ基本を固めていきましょう。

2　学習の到達目標

a：知識及び技能
・高度な化学的自然観を育成し，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する技能を身に着けるようにする。
b：思考力、判断力、表現力等
・観察、実験などを行い、科学的に探究する能力を養う。
c：学びに向かう力、人間性等
・化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・自然の事物･現象について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。 ・化学に関わる現象に関する観察，実験などを行い，それらの過程や結果を的確に記録，整理し，自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	・自然の事物・現象の中に問題を見出し，探究する過程を通して，事物を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。	・日常生活や社会との関連を図りながら化学に関わる現象の関係に関心をもち，意欲的にそれらを探究しようとするとともに，化学が我々にとってどれだけ有益であるかをという知識や認識を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	化学反応の速さと平衡	化学反応の速さ ① 反応の速さ ② 反応の速さを決める条件 ③ 反応のしくみ 化学平衡 ① 可逆反応と化学平衡 ② 平衡の移動 水溶液中の化学平衡 ① 電離平衡 ② 塩の水への溶解	a. 化学反応の速さと、反応する物質の濃度や圧力、温度、触媒の有無との関係を理解し、知識を身につけている。 b. 観察、実験を通して、濃度や圧力、温度を変えることによって化学反応の速さが変化する原理を考察する。反応の速さを定量的に調べる方法を示すことができ、発表することができる。 c. 化学反応の速さが、反応する物質の濃度や圧力、温度、触媒の有無によって変化することに関心を持ち、考察しようとする。	定期考査 小テスト 実験作業	定期考査 小テスト 実験作業	授業内での課題配布から考察・結論発表
	無機化学	周期表と元素 ① 周期表と元素 非金属元素の単体と化合物 ① 水素と希ガス ② ハロゲンとその化合物 ③ 酸素と硫黄とその化合物 ④ 窒素・リンとその化合物 ⑤ 炭素・ケイ素とその化合物 典型金属元素の単体と化合物 ① アルカリ金属とその化合物 ② 2族元素とその化合物 ③ 1，2族以外の典型金属元素とその化合物 遷移元素の単体と化合物 ① 遷移元素とその化合物 ② 金属イオンの分離・確認 無機物質と人間生活 ① 金属 ② セラミックス	a. 無機物質の性質や反応に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。 b. 無機物質の性質や反応などを、元素の周期表と関連付けることにより、規則性を見出すことができる。無機物質の性質や反応について、気づいた事をまとめ、発表することができる。 c. 無機物質の性質や反応に関する事物・現象に関心をもち、またそれらを日常生活に関連付けたりして、意欲的に探究しようとする。	定期考査 小テスト 実験作業	定期考査 小テスト 実験作業	授業内での課題配布から考察・結論発表

2学期	有機化学	有機化合物の特徴と構造 ① 有機化合物の特徴 ② 有機化合物の構造式の決定 炭化水素 ① 飽和炭化水素 ② 不飽和炭化水素 酸素を含む有機化合物 ① アルコールとエーテル ② アルデヒドとケトン ③ カルボン酸とエステル ④ 油脂とセッケン	a. 官能基の種類、性質、反応性について理解し、知識を身につけている。 b. 有機化合物の性質や反応性が、その構造に特徴付けられることを見出す。また、有機化合物に関する観察・実験で見出した結果を発表することができる。 c. 有機化合物の性質や反応に関する事物・現象に関心をもち、またそれらを日常生活に関連付けたりして、意欲的に探究しようとする。	定期考査 小テスト 実験作業	定期考査 小テスト 実験作業	授業内での課題配布から考察・結論発表
	有機化学	芳香族化合物 ① 芳香族化合物 ② 酸素を含む芳香族化合物 ③ 窒素を含む芳香族化合物 ④ 芳香族化合物の分離 有機化合物と人間生活 ① 食品 ② 医療品 ③ 染料 ④ 洗剤	a. 芳香族化合物やさまざまな官能基がもつ性質や反応性について、知識を身につけている。界面活性剤や染料、医薬品について理解し、知識を身につけている。 b. 芳香族炭化水素や、その官能基がもつ有機化合物の性質や反応性が、その構造に特徴付けられることを見出す。芳香族化合物に関する観察・実験で見出した結果を発表することができる。 c. 芳香族炭化水素や、その官能基がもつ性質や反応に関する事物・現象に関心をもち、またそれらを日常生活に関連付けて探究しようとする。	定期考査 小テスト 実験作業	定期考査 小テスト 実験作業	授業内での課題配布から考察・結論発表
3学期	有機化学	高分子化合物 ① 高分子化合物 天然高分子化合物 ① 単糖類・二糖類 ② 多糖類 ③ アミノ酸 ④ タンパク質 ⑤ 核酸 合成高分子化合物 ① 合成繊維 ② プラスチック ③ ゴム	a. 糖類、高分子化合物について理解し、知識を身につけている b. 糖類、高分子化合物がもつ構造のはたらきについて化学的に考察しようとする。また、観察・実験で見出した結果を発表することができる。 c. 糖類、高分子化合物の性質と構造について関心をもち、またそれらを日常生活に関連付けて探究しようとする。	定期考査 小テスト 実験作業	定期考査 小テスト 実験作業	授業内での課題配布から考察・結論発表

	有機化学・化学全般	４章　高分子化合物と人間生活 ① プラスチック利用の拡大と問題 大学入試センター試験や各大学の二次試験に向けた問題演習	a. 合成樹脂や衣料の素材について理解し、知識を身につけている。 b. 合成樹脂や衣料の素材について化学的に考察しようとする。また、観察・実験で見出した結果を発表することができる。 c. 合成高分子について関心をもち、またそれらを日常生活に関連付けて探究しようとする。	定期考査 小テスト 実験作業	定期考査 小テスト 実験作業	授業内での課題配布から考察・結論発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度